

分科会開催報告書

報告日 令和6年3月31日（日）	報告者 長島和子
分科会名 浮雲俳句会	開催テーマ 第181回浮雲俳句会
開催日時 令和6年3月24日（日） 午前10時～12時	開催場所 いきいきセンター 晴嵐かなざわ
参加人数 浮雲俳句会会員 14 名	

実施内容

第181回例会は兼題「ハグ」の1句、当季雑詠3句、合計4句。

句会は二祥会員による選句の披講後、会員各々が選んだ特選句の選評。

月当番による合評後、意見・質問・添削等活発な意見交換がなされた。

「添削・推敲チェックシート」、「共に学ぼう！浮雲俳句会」「俳句の為の文語文法③」を用いて学習。

全会員により、特選句7句を選ぶ。

太田重九会員より、3月末にて代表退任のあいさつ

安藤真青会員の退会（3月末）

特選句

またひとつ灯りのともる能登の春	勇平
三月や廃線ときくバスの揺れ	えいこ
初音聞く白衣観音笑み深し	あきえ
濡れ縁に草餅ふたつ老ふたり	とも女
春愁や波引く浜の虚貝	二祥
無人機の飛び交う空へ鶴帰る	十九
空翔る千の翼や白木蓮	和女

次回の予定

令和6年4月28日（日）午前10時～12時

第182回例会は、いきいきセンター晴嵐かなざわ

兼題「砂」の1句、他に当季雑詠3句、合計4句。

披講 とも女会員